

こども園における自己評価結果報告

こども園における自己評価の結果がまとまりましたので、ご報告いたします。
自己評価の結果を踏まえ、今後の教育・保育の質の向上並びにこども園運営の資質向上に努めて参ります。

A: たいへんよい
B: よい
C: 一部検討を要する
D: 改善を要する

項目	内容	評価				
		A	B	C	D	
教育・保育理念	(1) 理念や基本方針が職員に周知されているか		○			・今年度は、理念や基本方針が、利用者に周知されているかを知るためにアンケートに項目をいれてみた。8割程が”知っている”または”おおむね知っている”という結果が出た。しかし、2割程は”あまり知らない”という結果も出たので、来年度も、子どもの生活や遊びを通して、理念や基本方針をわかりやすく伝えていく。また、職員への周知は、2月の園内研修で意見交換を行い深めることができた。今後、正規職員会やパート職員会等で理念等を復唱していきたい。
	(2) 理念や基本方針が利用者に周知されているか		○			
	(3) 理念や基本方針に基づいた教育保育が行なわれているか		○			
	(4) 一人一人の子ども的人格を尊重した教育保育について共通の理解をもっているか		○			
教育保育の計画	(1) 社会状況や子どもの実態、地域性を考慮し、必要に応じて教育保育課程の見直しを行っているか		○			・今年度も、新型コロナウイルス感染症の影響もあったが、地域との活動は見直ししながらできる範囲で行い、繋がりを持たせた。園内では、子どもの主体性を大切に教育・保育を心掛け、行事の見直しを行った。しかし、クラス内での保育者の思いや方向性にズレを感じてしまうこともあった。子どもの主体性を大切に教育・保育はとて難しく、その場その場で考えなくてはいけないことも多く、迷ってしまう場面もある。その場で、すぐには共有することはできなくても、保育者間の話し合いを密にし、子どもの事等を何でも話し合える体制を作り行事等を進めていきたい。
	(2) 指導計画は、乳幼児の心身の発達を踏まえ、入園から修了までの長期的な視野を持って充実した生活が展開できるように配慮し作成されているか		○			
	(3) 子どもの生活が豊かになるように行事を精選し、子どもの発達を踏まえて、その内容や実施の仕方について見直しを行っているか	○				
子どもの発達援助	(1) 子ども一人一人の健康状態や発育・発達の状態を把握し、職員間にて共有されているか	○				・今年もコロナ禍の為、フリーの看護師が各クラスを回り、一人一人の健康状態や家族の健康状態等の把握に努めた。必要であれば、担任、栄養士、園長等と相談し連携して対応している。 ・季節や行事に合わせて、行事食の実施や旬の食材等の展示を行い、食を通じて季節感も味わったり、触れたりすることができた。野菜の栽培、収穫やクッキングを通して、また、年長児は毎日の献立の食材を元気づけパネルで4色の栄養素分けをして、食に興味を持つことができた。 ・子ども主体の教育・保育を大切に考えているが、2階の廊下やベランダの効率的な使用や、クラス的环境設定の工夫などに難しさを感じることもあった。その日の改善点を反省し、環境を整えることが毎日できず悩むこともあり、保育者の心の余裕も必要だと感じた。今後も、職員間で連携し、コミュニケーションを大切にして取り組んでいきたい。 ・子ども一人一人、特に配慮の必要な子どもが安心して過ごせるように、職員間の共通理解を大切にしてきた。配慮の必要な子どもを全職員で見守っていただけるように、園内研修で事例を取り上げ、子ども理解をしたり、必要に応じ保護者面談を行った。また、様々な専門機関と連携を取り、安心した生活ができるよう取り組んできた。 ・コロナ禍ではあるが、小学校との連携はできる範囲で行っている。今後も、年長児が期待を持ってスムーズに就学できるよう取り組んでいきたい。
	(2) 子どもが安定感をもって過ごし、自分の気持ちを安心して表すことができるよう留意しているか		○			
	(3) 子どもに相応しい食生活が展開されるように、食事について見直しや改善を行っているか		○			
	(4) 子どもが食事を楽しむことができる工夫をしているか		○			
	(5) 子どもが主体的に活動できるような、人的・物的環境が整備されているか		○			
	(6) 子ども一人一人を受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われているか		○			
	(7) 健康安全や発達の確保を十分に図り、日々の環境を整えているか		○			
	(8) 子どもが自ら周囲の様々な環境と関わり、発達に必要な体験を積み重ねていけるよう努めているか		○			
	(9) 子ども自身が自分を肯定する気持ちを育まれていくよう、継続的な信頼関係が築かれているか		○			
	(10) 保護者の生活形態を反映した子どもの在園時間の長短、入園時期や登園日数の違いを踏まえ、子ども一人一人の状況に応じた工夫が行われているか		○			
	(11) 障がいのある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、教育保育の内容や方法に配慮されているか	○				
	(12) 小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、教育保育の内容や方法、保護者とのかわりに配慮されているか		○			

項目	内容	評価				取り組み状況及び課題
		A	B	C	D	
保護者に対する支援	(1)子どもの発達や教育保育などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けているか			○		<p>・今年度は、感染対策を講じ運動会や保育参加、表現会などを開催することができた。アンケートでも、9割以上が「園の様子が伝えられている」と回答があり、保育者の意図が伝わるよう、情報誌やクラスだより、動画作成の配信等を行った。また、送迎時や連絡帳などで保護者とのやりとりをする機会を多く持った。感染の状況により懇談会は開催できなかったが、来年度は感染状況をみながら取り入れる方向で話し合い確認した。</p> <p>・今年もコロナ禍の為、園開放は行えなかった。その為、おたよりを配布したり、プレ保育を行い家庭で子育てしている親子を支援したりした。今後は、感染状況が収まったら園庭開放から行っていきたい。</p>
	(2)虐待に対応できる園内の体制(医療機関、児童相談所など専門機関との連携)の下、不適切な療育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び予防に努めているか		○			
	(3)地域の子育ての拠点として「こども園の開放」「相談・援助」「交流の場の提供」「情報の提供」の支援を行うよう努めているか			○		
教育保育を支える組織的基盤	(1)感染症やその他の疾病の発生予防に努め、看護師の専門性を活かした対応を図っているか	○				<p>・看護師の専門性を活かし、細やかな指導の下、保育者と連携しながら感染予防対策を行っている。また、体調不良児に対しては、看護師等がしっかりと対応している。</p> <p>・避難訓練等は、毎月行い、今年は消防立ち合い訓練も行うことができ、より実践的に評価反省ができた。不審者訓練は、内容を代えて二度行うことで定着できた。しかし、これまで給食職員は訓練に参加していなかった為、今後、できる範囲で訓練に参加し避難の仕方を確立させていきたい。</p> <p>・今年度も、毎月全職員による園内研修を行い、さらに2か月に1度は、外部講師による勉強会を行った。園内研修では、主体的な活動や子ども理解に焦点を当てたり、日々の保育で保育者が困っていることなどを事例に挙げ話し合うことで、質の向上と共通理解を図ることができた。また、施設長が講師となり研修も行ない、職員が自ら自己研鑽できるようにしている。</p> <p>・事業計画は、年度の初めに保護者や職員に冊子を配布し、周知した。しかし、途中に入園した保護者や職員新規採用で渡し忘れもあり周知が不十分だったようだ。年度途中で事業計画の変更があった場合は、施設長から職員会議等で知らせ、園だより等で保護者に伝えるようにしている。</p> <p>・保護者が相談や意見を伝えやすいように、毎日の登降園時に担任や職員室の職員が玄関先での対応をしている。しかし、アンケートから保護者の相談を聞くだけで回答や反応がなかったという意見もあり、保護者には、しっかりと答えや思い、考えを伝えていく。</p> <p>・職員一人一人が年3回の自己評価と年1回のキャリアパスフレームによる自己評価を行っている。自己評価を行い、職員自身が振り返りをし課題をみつけ、意識して日々の教育・保育に意欲的に取り組めるようにしている。</p>
	(2)体調不良、アレルギー疾患等をもつ子どもに対し、適切な対応が行われているか	○				
	(3)避難訓練・安全点検・不審者侵入防止訓練等、子どもの安全確保のための適切な対応が行われているか	○				
	(4)地震などの自然災害に対する防災対策は行われているか	○				
	(5)施設長がリーダーシップを発揮し、職員が教育保育の内容の充実と質の向上を図れるよう努めているか	○				
	(6)研修等、教育保育の質の向上を図るべく、自己研鑽への取り組みを積極的に行っているか		○			
	(7)事業計画が職員に周知されているか		○			
	(8)事業計画が利用者に周知されているか		○			
	(9)守秘義務の遵守が全職員に周知され、守られているか		○			
	(10)個人情報適切に取り扱うとともに、保護者の苦情に対し、早期解決を図るよう努めているか		○			
	(11)苦情解決の仕組みが確立され、保護者等に十分に周知・機能しているか		○			
	(12)保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備しているか		○			
	(13)保育教諭等が主体的に自己評価に取り組み、教育保育の改善が図られているか		○			
	(14)評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施しているか		○			

施設関係者評価

- ・保護者アンケートにおいて、「園生活を楽んでいる」が100%あり、他の質問も同じようでも保護者から信頼されていると感じます。保護者の方々からも好評な様子がアンケートからもうかがえます。
- また、コロナ禍でも、園の様子を保護者や地域に対して工夫しながら様々な手段を利用して伝えており、素晴らしいと思います。
- ・クラスだよりが2ヶ月に一度は寂しいと思います。2か月の間に子どもはぐーんと成長しますので、担当者の思いが伝わるたよりでいいので知らせられるといいですね。
- ・避難訓練は、給食の先生の役割も大切ですので、給食の先生方もぜひ参加しましょう。
- ・理念、基本方針について、2月の園内研修で意見交換を行い再確認し深めることができました。
- ・子どもが主体的に活動できる人的、物的環境の整備では、昨年度より評価が上がっています。しかし、2階の廊下やベランダ、クラス内環境の工夫の難しさが問題点としてあがりました。担任が悩んでいる時には、悩んでいることを羅列化して考えてみるのもよいと思います。悩みを抱えることなく孤立させない為にコミュニケーションなどをとっていかるとよいですね。
- ・保護者が相談するのは、答えが欲しいのだと思います。登降園時では時間も短く要点が伝えられないこともあり、「様子をみてみます」、と言った後は、次の日でも園側から保護者に応じてあげるとよいのではと思います。